

中国の記事から (砂糖)

2006年5月20日号

目次

◎4月の白糖1kgの小売価格は3.8%増の6.23元

【国際商報 2006年05月11日】

◎1～3月期の全国砂糖輸入は4倍増の17万トン、輸出は6割増の5.5万トン

【国際商報 2006年05月16日】

◎4月の白糖1kgの小売価格は3.8%増の6.23元

【国際商報 2006年05月11日】

商務部市場運行司は、全国的な供給不足を受け、白糖の小売価格が上昇していることを明らかにした。4月、全国36都市の袋入りの白糖の平均小売価格は3月より3.8%増の6.23元(1キログラム、以下同じ)に達した。都市別の価格上昇率は、大連(遼寧省)が23.2%、太原(山西省)が17.4%、長沙(湖南省)が14.0%に上っている。ウルムチ(新疆ウイグル自治区)、太原、石家庄(河北省)でもいずれも7元に高騰している。夏季には白糖需要が拡大することから小売価格は今後も上昇するものと予測されている。

◎1～3月期の全国砂糖輸入は4倍増の17万トン、輸出は6割増の5.5万トン

【国際商報 2006年05月16日】

関係部門は、1～3月期の全国砂糖輸入量は17万トン(410%増。前年同期比、以下同じ)、輸出量は5万5千トン(61.8%増)、輸入関税率は8.7%であったと発表した。各国・地区からの輸入量はブラジル(10万8千トン)、韓国(2万7千トン)、ベルギー(9千3百トン)などが多かった。

また、輸出先はインドネシア(2万9千トン)、香港(8千8百トン)、ベトナム(6千トン)などであった。このほか砂糖の輸入量が多かった省・自治区・直轄市は山東省(12万1千トン)、北京市(2万5千トン)、広東省(1万1千トン)、河北省(3千7百トン)、一方輸出量が多かったのは広東省(3万7千トン)、福建省(1万2千トン)、内モンゴル自治区(4千5百トン)となっている。

一方、一般貿易による輸入量は12万6千トン、「進料加工」(国内外で原料を調達し外国企業に

販売)によるものは2万3千トン、輸出量は「進料加工」によるものが3万6千トン、「来料加工」(外国企業が国内企業に原料を提供、加工した製品は原料提供した外国企業が引き取る)によるものが1万2千トンであった。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。